

	長岡技術科学大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	工学部（第1年次:80 第3年次:310） 大学院工学研究科（M:419 D:40） 大学院技術経営研究科（P:15）
沿 革	昭和51（1976）年 長岡技術科学大学開学、工学部設置 昭和55（1980）年 大学院工学研究科修士課程設置 昭和61（1986）年 大学院工学研究科博士後期課程設置 平成18（2006）年 大学院技術経営研究科専門職学位課程設置
設置目的等	<p>昭和51年には、実践的・創造的能力を備えた指導的技術者の養成という社会的ニーズに応えるため、実践的な技術の開発を主眼とした教育研究を行う大学院に重点を置いた工学系の大学として、高等専門学校卒業生を主たる対象とする新構想のもとに長岡技術科学大学が設立された。</p> <p>昭和55年には、新しい技術対象に対し常に適応能力を備えた意欲的研究者や指導的技術者の養成という社会的要請のもと、実践的技術の開発を主眼とする教育及び研究を目的とする特色ある大学院レベルの高等教育機関として、工学研究科が設置された。</p> <p>昭和61年には、広い視野と柔軟な思考力を備え、学術的研究を推進するとともに、その成果を実際の新技术にまで発展させ得る積極的意欲を持つ実践的・創造的な研究者及び技術者を養成することを目的として、工学研究科博士後期課程が設置された。</p> <p>平成18年には、欧米型の安全認証制度等の実施が緊急課題であることから、人に頼らない本質安全を実現できる「システム安全」に対応できる高度な専門的知識と実践能力を有する人材を養成することを目的として、技術経営研究科が設置された。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>長岡技術科学大学においては、社会の変化を先取りする“技学”を創成し、未来社会で持続的に貢献する実践的・創造的能力と奉仕の志を備えた指導的技術者を養成する、大学院に重点を置いたグローバル社会に不可欠な大学を目指すことを理念とし、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p>

- 高等専門学校からの学生を主な対象として、創設以来、1万人を超える大学院レベルの有意な実践的技術者を輩出してきた実績を生かし、産業界に役立つ高度な実践的・創造的グローバル技術者育成、並びに技学の創成とそれに基づくイノベーションを起こすことのできる高度な研究開発力とマネージング力を有する産業創造リーダー育成の役割を果たす。
- 国内外の企業等で幅広い視野からの総合的な技術感覚を養う5か月間の「実務訓練」を中心とした実践的グローバル技術者育成プログラム、国立大学初のツイニングプログラム、「環太平洋新興国との高度な双方向連携教育研究による持続型社会構築のための人材育成・新産業創出拠点プロジェクト」などの国際共同研究プロジェクト等をベースとしたダブルディグリープログラムなど、国際水準の特色ある教育を進めてきた実績を生かすとともに、期間短縮の実質化や選抜による少数精鋭特別教育の実施など、更なる教育改革を進め、グローバルに活躍できる工学系人材を育成する学部・大学院一貫教育の不断の改善・充実を図る。
- 材料科学、制御システム、ゴムなどの農産物や廃棄物の資源化などを中心としたグリーンテクノロジー、電気工学やグリーンテクノロジーと融合したエネルギー分野、及び建設工学、機械工学などの社会・産業基盤分野並びに情報・エレクトロニクス分野を始め、多くの工学分野における高い研究実績を生かし、先端的な研究を分野融合的な連携の下推進する。
- 戦略的・先導的に進めてきた多数の留学生受入れ実績や技術者教育にかかわる多数の海外大学支援実績に基づき、更に積極的に外国人留学生を受け入れてキャンパスの国際化を進め、日本人学生のグローバル化を推進するとともに、技学を基本とした技術者育成を目指す海外の高等専門学校・技術系大学の拡充・発展を主導的に支援していく。
- 高等専門学校とのネットワークを生かした全国の地域と結びついた技学の拠点としての役割を担い、産業振興の推進に取り組むとともに、地元中越地区の多くの自治体等との包括的連携協定締結及び地域住民を対象とする学びの機会提供の取り組みである「まちなかキャンパス長岡」への支援、小中学校・高校への理科教育支援等を通じ、地域や企業が抱える課題の解決、人材の育成に取り組む。

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 社会人を対象とした持続社会に不可欠な安全確保の専門職の養成、企業からの派遣者に学習目的に合わせた教育を提供するオーダーメイド工学教育プログラムなどの実績を踏まえ、開かれた大学として社会人の継続教育・再教育の社会的要請にこたえる。</li><li>○ 産業基盤技術分野の、例えば、原子力技術者、重電技術者などの育成を継続・充実し、日本の社会・産業を支える役割を果たしていく。</li></ul> |
|--|--|